

第60回宇宙科学技術連合講演会

東海大学 情報通信学部

高山佳久

2016年9月6日(火)から9月9日(金)の期間、北海道函館市の湯川地区に位置する「函館アリーナ」において第60回宇宙科学技術連合講演会が開催された^[1]。この会場は、様々なスポーツイベントや会議、集会が行われる大規模な施設である。今回は、期間中に117件のセッションが設けられ、講演数718件、参加者数978名、企業からの展示出展13件と盛況な講演会となった。

特別講演として3件の講演が行われた。1件目は、箱館奉行所館長の田原良信氏による講演である。『幕末開港と激動・明治維新の函館』というタイトルで、幕末から戊辰戦争最後の戦いとなる箱館戦争終結までの函館の歴史について講演が行われた。2件目は、北海道大学北極域研究センター長の齊藤誠一氏による『衛星リモートセンシングの水産業への応用-スマート漁業への挑戦-』である。リモートセンシング衛星のデータを用いた水産業の活用事例や、漁場位置を予測する「トレダス」が紹介された。3件目は、株式会社アクセルスペースの代表取締役中村友哉氏による『超小型衛星ビジネスの現場とこれから』である。会社の設立からこれまでの実績と、2022年までに実現する計画として50機の衛星群で地球を観測する計画(AxelGlobe計画)が紹介された。

筆者が情報通信研究機構との共同オーガナイザとして関わった「光およびレーザー技術とその宇宙応用への期待」は今回企画された34件のオーガナイズドセッションの一つである。ここでは、光技術に関するプロジェクトや最新の研究開発の成果が19件発表された。通信技術に関しては、次期の宇宙光通信装置に関する研究開発や、小型衛星に搭載された光通信装置SOTAと地上局との光通信実験の成果、将来の宇宙光通信のための要素技術の研究成果の講演などが行われた。また、デブリの除去、エネルギー伝送、宇宙重力波望遠鏡のための研究成果や、空間へのレーザー照射における安全性の確保に関する現状など、幅広い内容が講演された。

なお講演会の期間中、湯の川温泉の「花びしホテル」で懇親会が開催された。学生優秀賞の表彰、「イカール星人」の登場^[2]、巴太鼓の演奏が行われ^[3]、次回開催地が新潟であることが伝えられた。■

[1] <http://www.zaidan-hakodate.com/arena/>

[2] <http://www.ika-r.com/>

[3] <http://wwwb.ncv.ne.jp/~flh-1340/>

